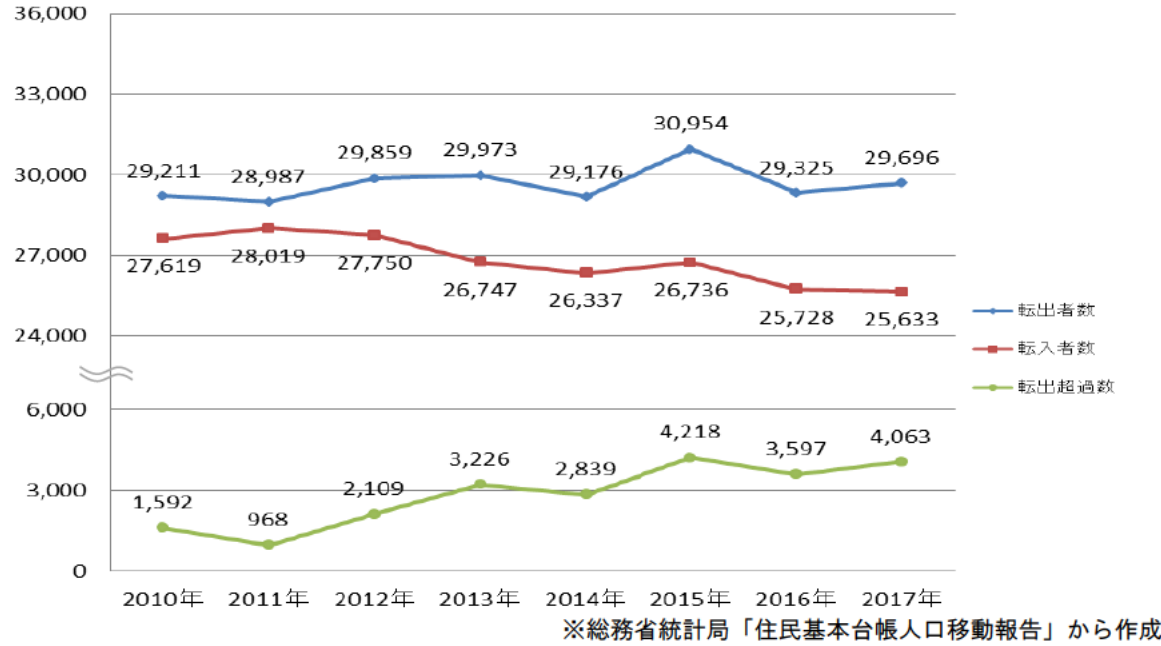


数字でみる三重県の若者の動き

1. 三重県の転出入者数の現状

(1) 転出超過数、転入者数、転出者数の推移

2017(平成 29)年の住民基本台帳人口移動報告によると、転出超過数は 4,063 人で、2016(平成 28)年の転出超過数 3,597 人より 466 人増加しました。また、2017 年の転入者数は 25,633 人、転出者数は 29,696 人ですが、2010(平成 22)年からの推移をみると、転出者数は 2015 年に 30,000 人を超えたものの、その他の年は 29,000 人台で推移しており、転入者数は減少傾向にあります。



(2) 年齢階層別転入超過数の推移

三重県において、就職や進学に伴う 15～29 歳の若者の転出超過は全体の転出の約 8 割を占め、毎年転出超過の大きな要因の一つとなっています。

※マイナスは転出超過を示す。

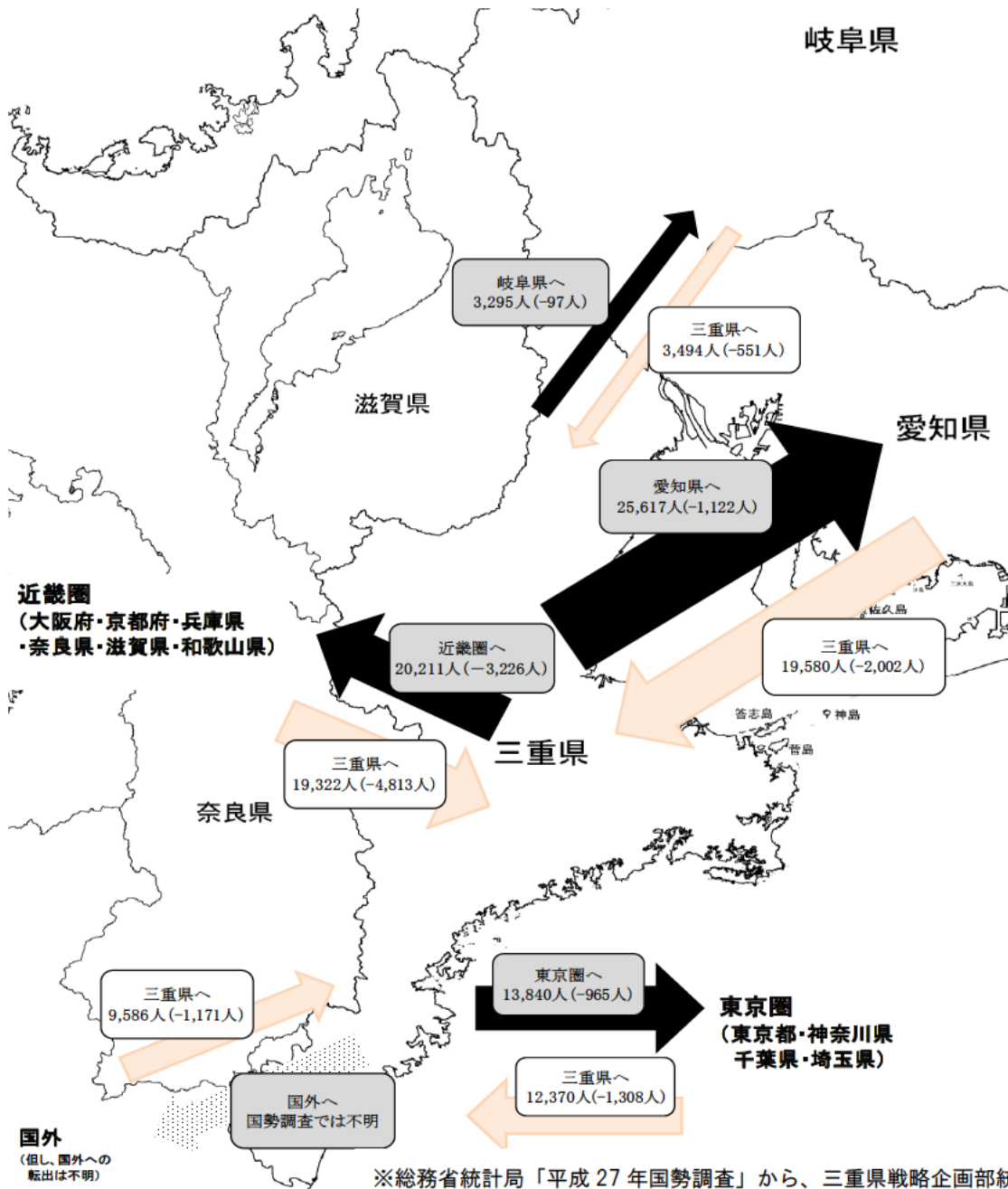
| 転入超過数 | 2010年 | 2011年 | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 | 2017年 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 総数 | -1,592 | -968 | -2,109 | -3,226 | -2,839 | -4,218 | -3,597 | -4,063 |
| 0～4歳 | 218 | 284 | 304 | -11 | 191 | 64 | 104 | -117 |
| 5～9 | 16 | 53 | 59 | -39 | -31 | -52 | -43 | -71 |
| 10～14 | -28 | 74 | -40 | 14 | -91 | -61 | -96 | -71 |
| 15～19 | -759 | -651 | -818 | -693 | -690 | -774 | -904 | -977 |
| 20～24 | -1,162 | -1,146 | -1,571 | -1,445 | -1,434 | -1,702 | -1,648 | -1,699 |
| 25～29 | -203 | -230 | -552 | -795 | -536 | -868 | -609 | -711 |
| 若者計 | -2,124 | -2,027 | -2,941 | -2,933 | -2,660 | -3,344 | -3,161 | -3,387 |
| 30～34 | 108 | 265 | 141 | -113 | -116 | -263 | -116 | -186 |
| 35～39 | 56 | 258 | 168 | -22 | -29 | -246 | -93 | -5 |
| 40～44 | -67 | 60 | 174 | 14 | 86 | 27 | -105 | -124 |
| 45～49 | -4 | -28 | -6 | 21 | -48 | -150 | 22 | -95 |
| 50～54 | 25 | 16 | 55 | -88 | -97 | -127 | -41 | -37 |
| 55～59 | 123 | 83 | -9 | -49 | 3 | 40 | -16 | 51 |
| 60～64 | 171 | 138 | 107 | 79 | 41 | 33 | -43 | 51 |
| 65～69 | -13 | 44 | 77 | 42 | 47 | 49 | 47 | 17 |
| 70～74 | 8 | -36 | -41 | -18 | -9 | -24 | 34 | -25 |
| 75～79 | -21 | -67 | -70 | -38 | -39 | -43 | -20 | -43 |
| 80～84 | -25 | -44 | -79 | -41 | -61 | -44 | -29 | 5 |
| 85～89 | -14 | -27 | -10 | -49 | -16 | -50 | -32 | -8 |
| 90歳以上 | -18 | -14 | 3 | 5 | -10 | -27 | -9 | -18 |

※総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」から作成

(3) 三重県と近隣府県、東京圏、近畿圏における転入者数、転出者数

平成 27 年国勢調査における「5 年前の常住地調査」から人口移動の状況を見ると、転入者、転出者とも愛知県との間で最も多く、合計で 6,037 人の転出超過となっています。東京圏・近畿圏の間では、それぞれ 1,470 人、889 人の転出超過となっています。

| (単位：人) | 愛知県 | 岐阜県 | 東京圏 | 近畿圏 | 国外 |
|-----------|--------|-------|--------|--------|-------|
| 三重県へ（転入） | 19,580 | 3,494 | 12,370 | 19,322 | 9,586 |
| 三重県から（転出） | 25,617 | 3,295 | 13,840 | 20,211 | — |
| 転入－転出 | △6,037 | 199 | △1,470 | △889 | — |



※総務省統計局「平成 27 年国勢調査」から、三重県戦略企画部統計課作成
() 内の数値は、平成 22 年調査との差

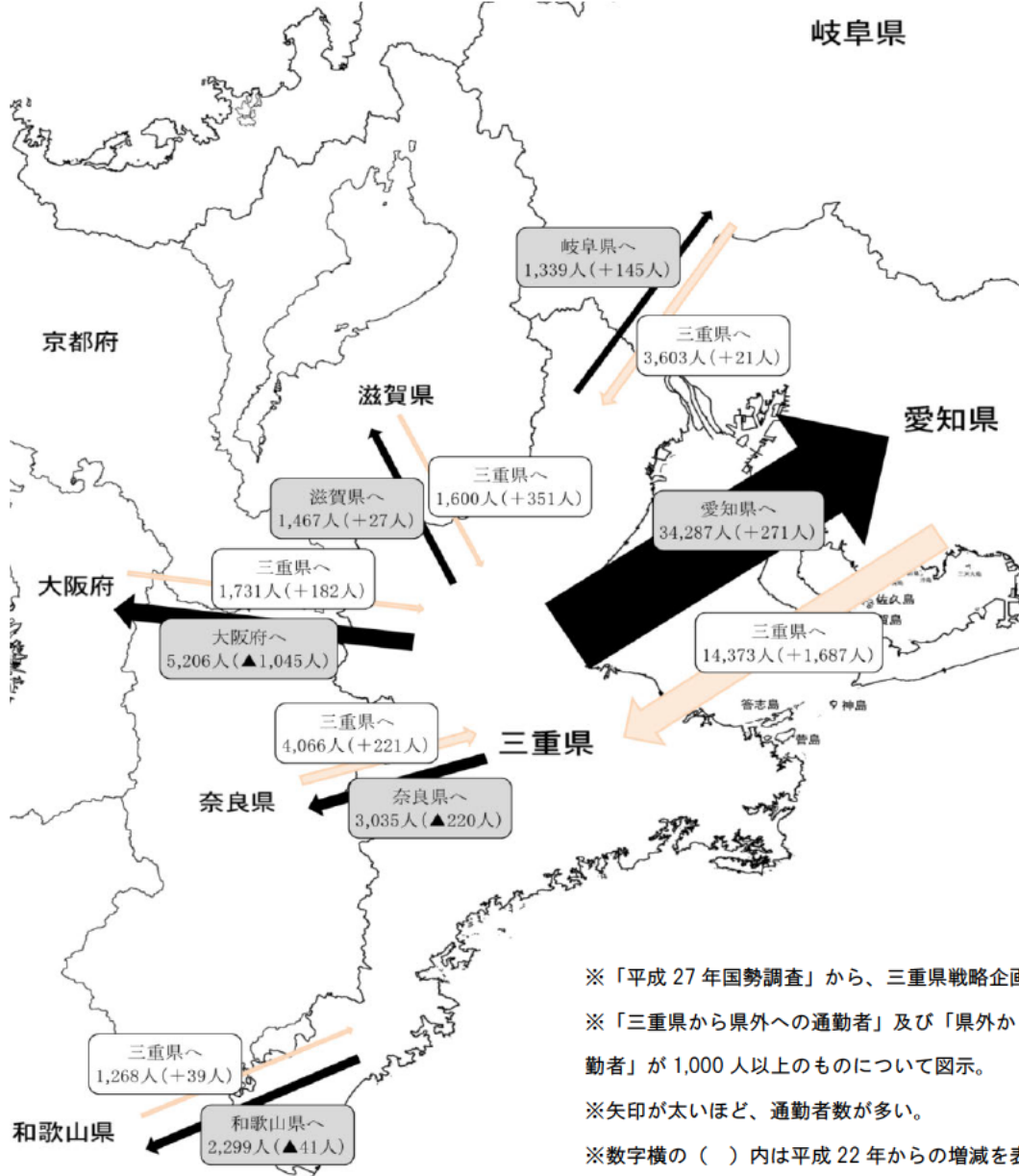
(4) 通勤者からみる県外との関係（通勤者数 1,000 人以上）

三重県内から近隣府県への通勤者数は、図内に示したとおり愛知県が最大となっています。

| (単位:人) | 愛知県 | 岐阜県 | 滋賀県 | 大阪府 | 奈良県 | 和歌山県 | 全体 |
|-----------|---------|-------|-------|--------|-------|--------|---------|
| 三重県へ(流入) | 14,373 | 3,603 | 1,600 | 1,731 | 4,066 | 1,268 | 31,066 |
| 三重県から(流出) | 34,287 | 1,339 | 1,467 | 5,206 | 3,035 | 2,299 | 51,029 |
| 流入-流出 | Δ19,914 | 2,264 | 133 | Δ3,475 | 1,031 | Δ1,031 | Δ19,963 |

全体では、県外への通勤者（流出：51,029 人）が、県内への通勤者（流入：31,066 人）を 19,963 人上回っています。

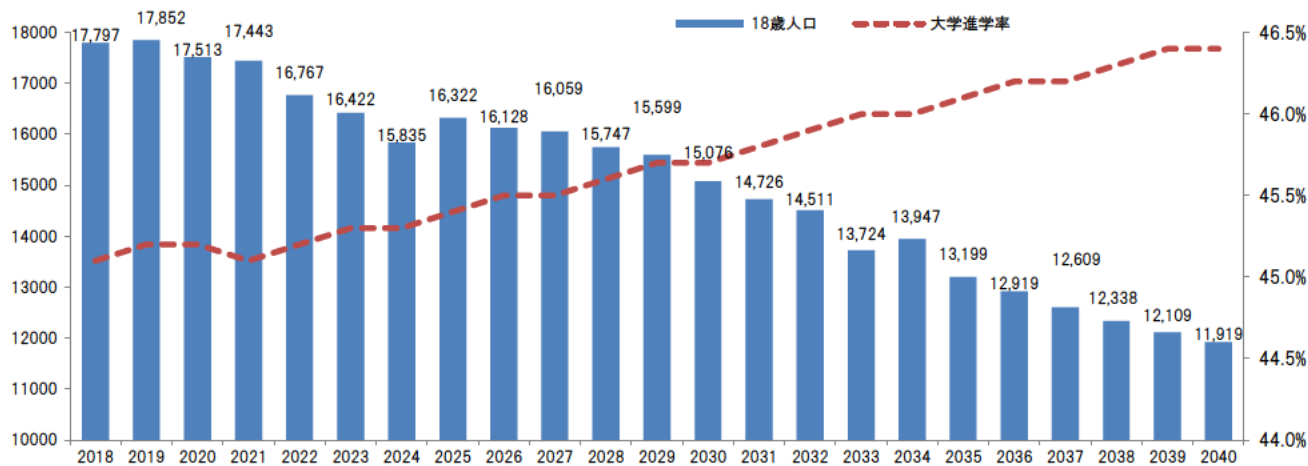
平成 22 年調査時との比較では、流出 0.8%増、流入 16.0%増と、流入の伸び率が上回っており、流出超過（23,848 人→19,963 人）は、約 4,000 人の減となっています。特に大阪府、奈良県、和歌山県との関係では、流出が減少し、かつ流入が増加しています。愛知県との関係では、流出の増（271 人）に比べ流入の大幅増（1,687 人）となっています。



2. 三重県の「進学」シーンにおける現状

(1) 三重県における18歳人口の将来推計

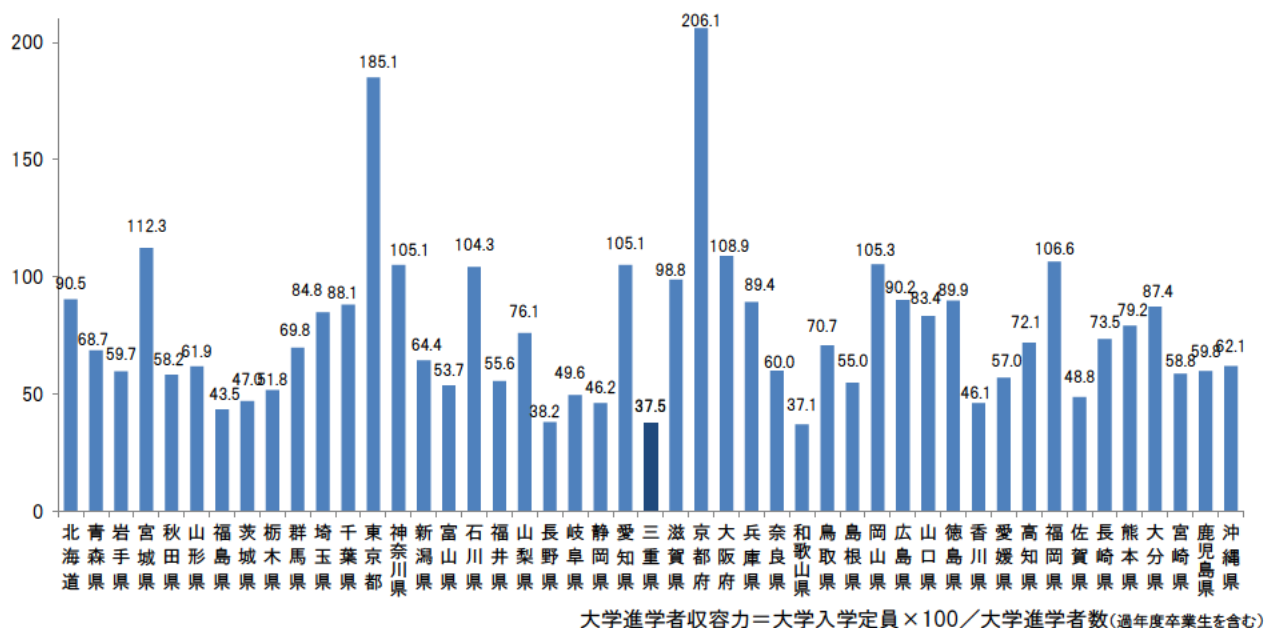
18歳人口は2020年以降減少していくのに対し、大学進学率は高まっています。



出典：①2018年～2029年 文部科学省「学校基本調査」を元に推計、②2030年～2035年 厚生労働省「人口動態統計」の出生数に生存率を乗じて推計、③2036年～2040年 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）（出生中位・死亡中位）」を元に作成(2035年の都道府県比率で案分)、大学進学率の推計については、平成30年2月21日中教審将来構想部会の文部科学省提出資料より引用。

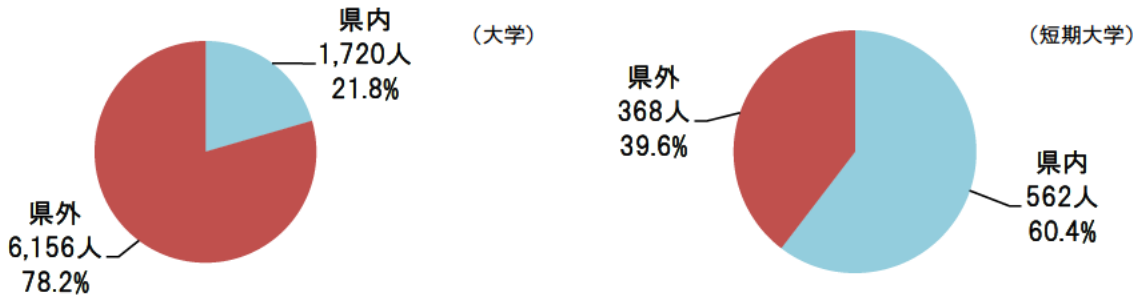
(2) 都道府県別大学進学者収容力（平成29年度）

大学進学する高等学校卒業生に対して、都道府県にどの程度の大学入学定員があるのかを示す「大学進学者収容力」について、平成29年度の本県の大学進学者収容力は37.5でした。これは、県内で大学進学する卒業生(8,299人)に対して、県内大学の入学定員数が4割弱であることを示しており、全国最低水準となっています。



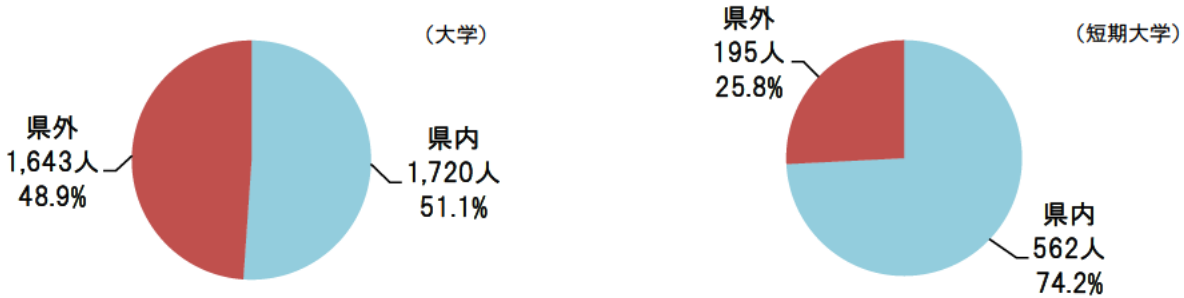
(3) 県内高等学校卒業生の大学、短期大学への進学状況

・平成30年4月に大学及び短期大学に進学した県内高等学校卒業生のうち、県内に進学した者の割合はそれぞれ21.8%、60.4%となっています。



※文部科学省「平成30年度学校基本調査(速報)」から作成

・平成30年4月に県内の大学及び短期大学に入学した学生のうち、県内高等学校出身者の割合はそれぞれ51.1%、74.2%となっています。



※文部科学省「平成30年度学校基本調査(速報)」から作成

(4) 大学に進学した県内高等学校卒業生の進学先

進学先では、愛知県が約4割、東京圏が1割、関西圏が約2割となっており、この割合は毎年大きな変動はありません。

| | 全体 | 三重県 | 県外 | 県外のうち 愛知県 | 県外のうち 東京圏 | 県外のうち 近畿圏 |
|-------|-------|-------|-------|--------------|--------------|--------------|
| 2018年 | 7,876 | 1,720 | 6,156 | 2,973 | 710 | 1,524 |
| | | 21.8% | 78.2% | 37.7% | 9.0% | 19.3% |
| 2017年 | 8,299 | 1,704 | 6,595 | 3,207 | 826 | 1,634 |
| | | 20.5% | 79.5% | 38.6% | 10.0% | 19.7% |
| 2016年 | 7,969 | 1,618 | 6,351 | 3,082 | 773 | 1,611 |
| | | 20.3% | 79.7% | 38.7% | 9.7% | 20.2% |
| 2015年 | 8,076 | 1,718 | 6,358 | 3,053 | 748 | 1,658 |
| | | 21.3% | 78.7% | 37.8% | 9.3% | 20.5% |
| 2014年 | 8,214 | 1,661 | 6,553 | 3,192 | 839 | 1,655 |
| | | 20.2% | 79.8% | 38.9% | 10.2% | 20.1% |

※文部科学省「学校基本調査」を基に三重県戦略企画部戦略企画総務課作成(2018年は速報値)

※東京圏：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県 関西圏：京都府、大阪府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県

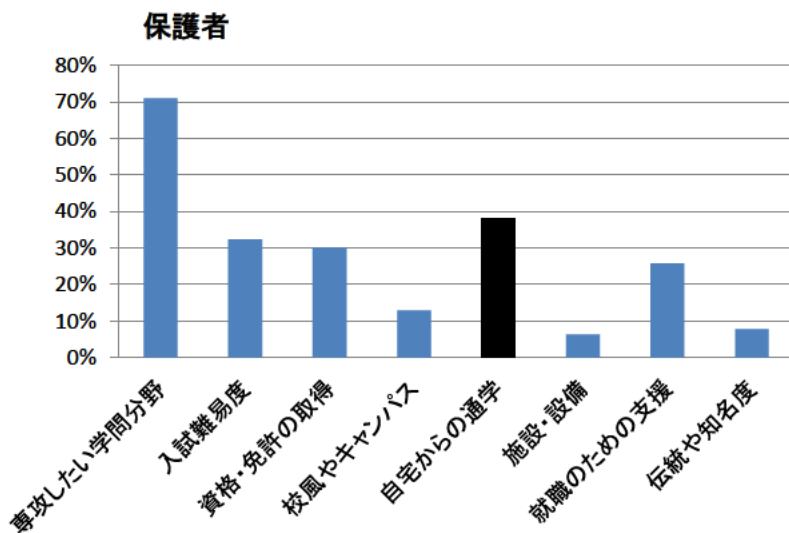
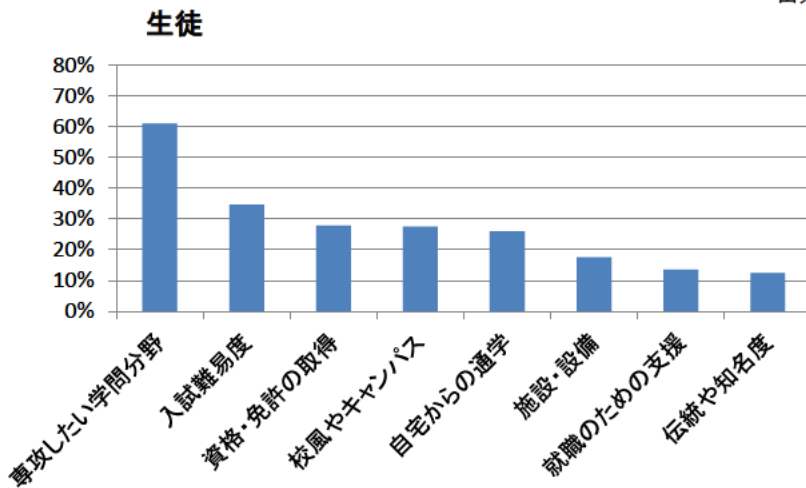
※割合は、県内高等学校卒業生全体に対する割合を示す。

(5) 進学先を決める際の意識

進学先を決める際の相談相手は保護者（特に母親）が多く、保護者は「自宅から通える」ことも重視しています。

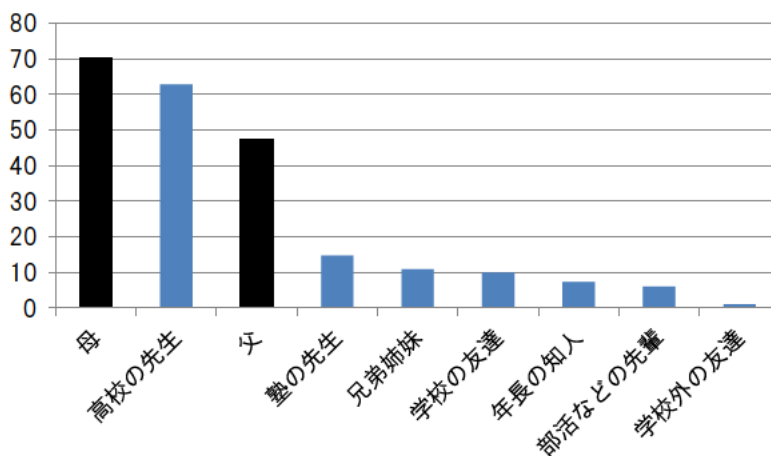
●進学先を決める際、何を重視するのか？（複数回答）

出典：H26.12月三重県実施 高校生・保護者アンケート



●進学先を決める際、誰の意見を重視するのか？（複数回答）

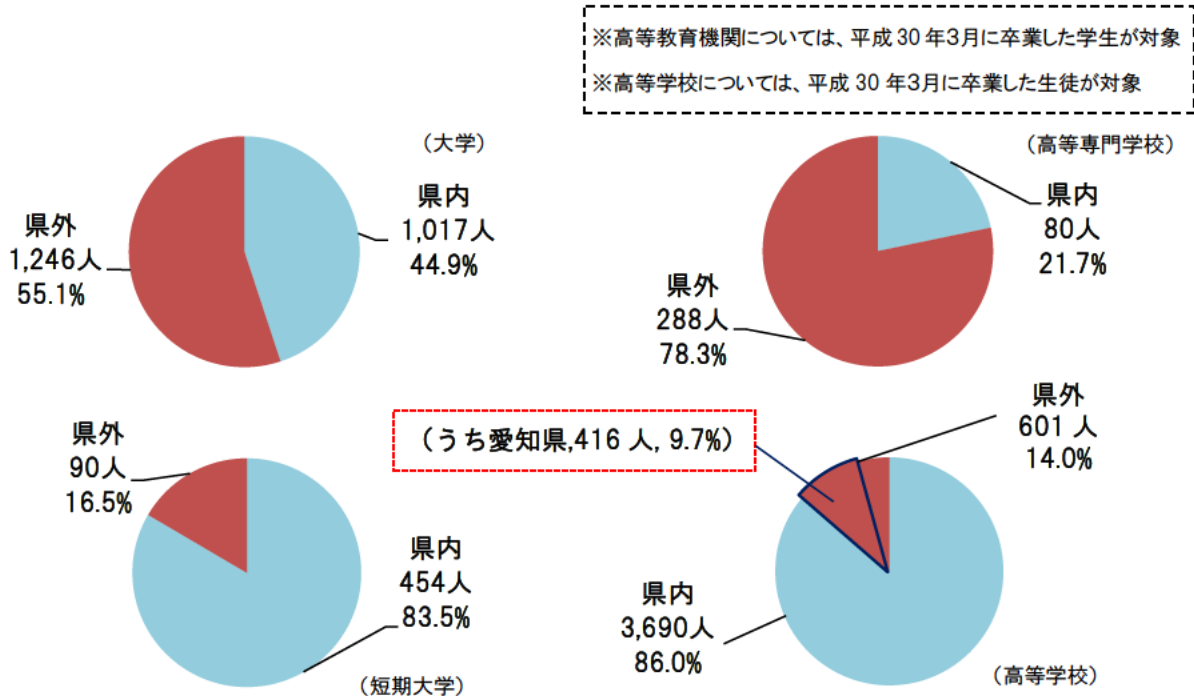
出典：H26.12月三重県実施 高校生・保護者アンケート



3. 三重県の「就職」シーンにおける現状

(1) 県内高等教育機関及び高等学校卒業生の就職状況

高校生の就職先については、県内 86.0%、県外 14.0%となっており、県外のうち愛知県の割合が最も大きい状況にあります。



出典：大学、短期大学、高等専門学校は三重県調べ
 ※高等学校は、文部科学省「平成 30 年度学校基本調査（速報）」から作成

(2) 就職先を決める際の意識

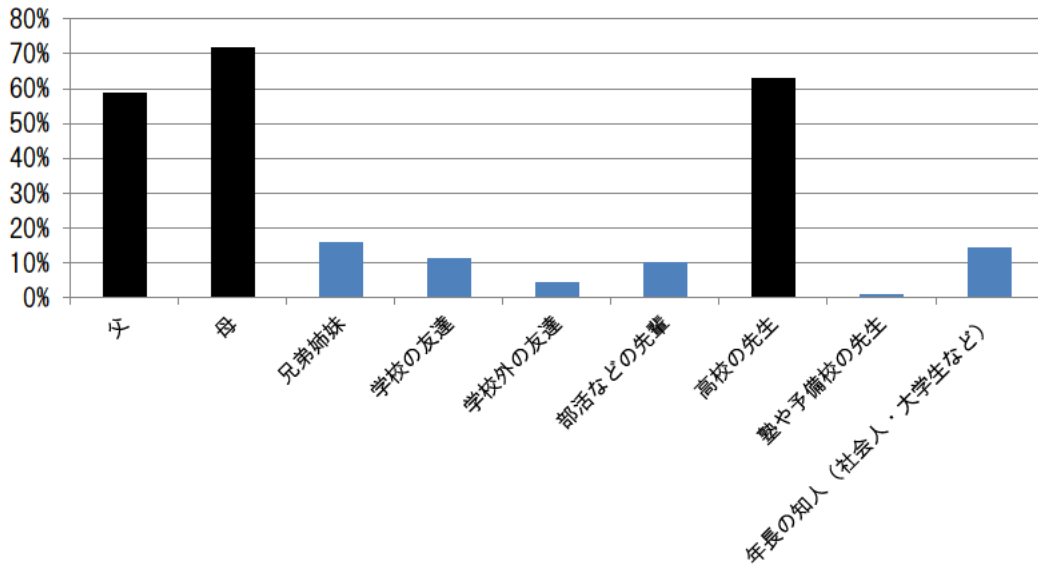
就職において重視する項目は、「働きやすさ」が1位となっています。また、就職先を決める際の相談相手は高校生、高等教育機関学生ともに保護者（特に母親）や先生が多くなっています。

●就職で重視する条件は何ですか？（複数回答）

| | | 回答 (人) | 働き やすさ | やり がい | 産休・育 児休暇 制度 | 育児休 暇後の 職場復 帰支援 | 給料 | 待遇 及び福 利厚生 | 勤務地 | 企業の 将来性 | 業種・職 種 |
|--------|---------|-----------|-----------|----------|-------------------|--------------------------|------|------------------|------|------------|-----------|
| 全体 | | 10,723 | 71.7 | 54.5 | 30.7 | 20.1 | 60.6 | 32.7 | 34.7 | 21.5 | 33.5 |
| 所 属 | 大学 | 8,714 | 72.0 | 54.7 | 30.7 | 20.2 | 61.0 | 32.3 | 35.2 | 20.6 | 33.2 |
| | 短期大学 | 1,100 | 75.9 | 56.8 | 42.9 | 26.6 | 62.5 | 31.5 | 35.3 | 16.5 | 31.5 |
| | 高等専門学校 | 909 | 64.5 | 50.2 | 16.1 | 11.1 | 54.7 | 38.3 | 29.0 | 36.0 | 38.1 |
| 性 別 | 男性 | 5,434 | 65.8 | 52.3 | 12.3 | 7.9 | 56.0 | 28.1 | 29.7 | 24.5 | 31.1 |
| | 女性 | 5,142 | 79.0 | 57.6 | 50.7 | 33.2 | 66.1 | 38.0 | 40.5 | 18.6 | 36.3 |
| | どちらでもない | 77 | 49.4 | 37.7 | 19.5 | 14.3 | 46.8 | 32.5 | 23.4 | 13.0 | 28.6 |

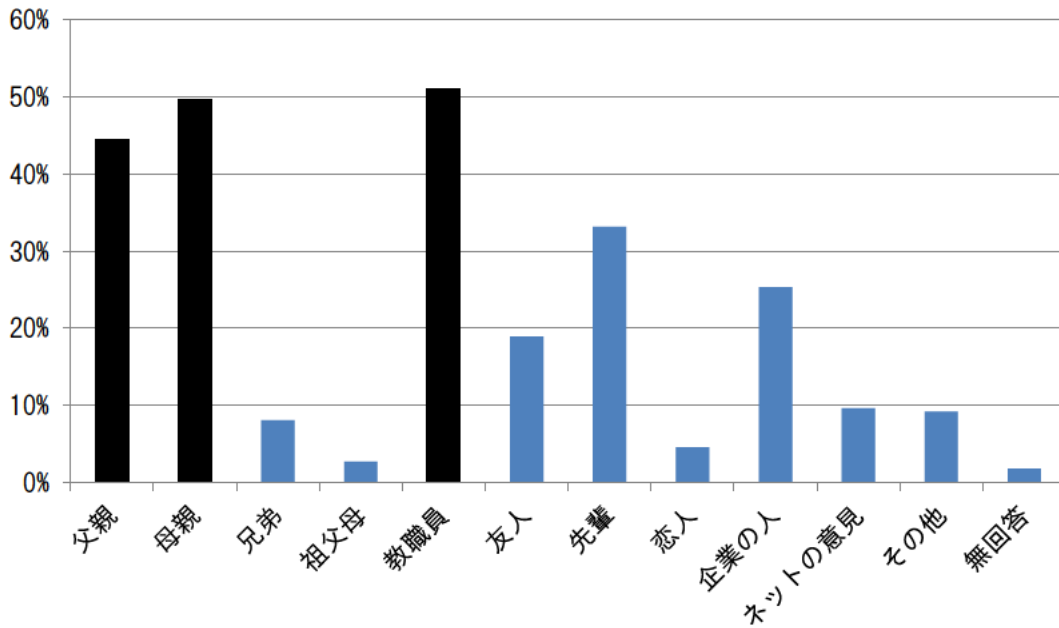
※H29 三重県実施 結婚・出産・子育て、仕事に関するアンケートから作成

●【高校生】就職先を決める際、誰の意見を重視するのか？（複数回答）



出典：H26.12月三重県実施 高校生・保護者アンケート

●【高等教育機関学生】就職先を決める際、誰の意見を参考にするのか？（複数回答）



出典：H28.9～10月コンソーシアムみえ実施
県内就職と地域活動に関する意識調査アンケート